

第一期研究『多様な圏域形成の現状と今後の課題』

研究レポート

地域空間の実像



2019年5月24日

みらい協創研究会

文章中、執筆者の意見に関わる部分については、所属団体の見解等とは無関係である。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

序章	地域社会と研究会		
	第1節	いま、なぜ研究会か	1
	第2節	研究会の概要	4
	第3節	研究会は地域における知識創造の「場」	6
	第4節	地域の基本概念	7
第1章	第一期研究について		
	第1節	研究の背景	8
	第2節	研究課題「多様な圏域形成の現状と今後の課題」	11
	第3節	研究体制	13
	第4節	これまでの取り組み	17
第2章	地方創生総合戦略に見る自治体政策の現状		
	第1節	地方創生総合戦略の系譜	22
	第2節	参加自治体の総合戦略	24
	第3節	包括的な視点による考察	38
第3章	地域空間の実像① 自治体間の比較		
	第1節	比較分析の方法	44
	第2節	比較分析の結果	44
	第3節	まとめ	55
第4章	地域空間の実像② 生活空間の実像		
	第1節	定常的移動人口（常住地・従業地）の可視化	57
	第2節	商圈形成の動向把握	64
	第3節	従業地における産業別就業者（15歳以上人口3区分）	67
	第4節	民間事業所立地の経年変化	68
	第5節	従業者数・付加価値額から見た各自治体別産業の特徴の把握	77
	第6節	産業間取引の構造的把握	91
	第7節	公共施設の現状	95
	第8節	まとめ	99
第5章	地域空間の実像③ 10市町における連携の実態と将来の可能性		
	第1節	連携実態調査の結果	100
	第2節	連携実態調査の内容分析	105
	第3節	連携実態調査の結果及び分析を踏まえた将来の可能性	126
第6章	地域空間の実像④ 公共施設配置の利便性・効率性		
	第1節	はじめに	137
	第2節	利便性	138
	第3節	効率性	139
	第4節	おわりに	142
第7章	今後の研究課題		
	第1節	今後の研究における着眼点	143
	第2節	圏域と連携をめぐる主な論点	144
第8章	総合所見		146

◆ 別添資料 ◆

- No.1 第1回公開セミナー・レポート
- No.2 広域連携の現状等に関する調査【調査要領】

■ 執筆者等一覧

研究フェロー（総括・監修・執筆）

【第8章】

佐々木邦明

早稲田大学/理工学術院/創造理工学部/教授

主任研究員（編集・構成・執筆）

【序章、第1章、第2章、第7章】

乙黒 功

甲府市/企画部/参与

研究員（執筆）

【第3章】

藤井亮一

甲斐市/建設産業部/商工観光課

塩田将大

昭和町/総務課

齋藤 雄

南アルプス市/総合政策部/政策推進課

浅川裕介

北杜市/産業観光部/農政課

小林 弘

山梨市/政策秘書課

【第5章】

鈴木信貴

甲府市/総務部/職員課

佐野慶太

中央市/政策秘書課

曾雌隼人

韮崎市/産業観光課

鬼島佑介

笛吹市/保健福祉部/生活援護課

笹本正和

甲州市/総務課

【第4章】

佐藤史章

山梨中銀経営コンサルティング(株)/経済調査部

三枝 晃

甲府信用金庫/経営企画部/経営企画課

【第6章】

宮川雅至

山梨大学/生命環境学部/助教

（2019年4月1日現在、順不同）